

## 幅広い生徒の興味・関心・基礎力に対応した「進路選択」を題材とした授業の実践

千葉県立 ○○○○ 高等学校 ○○ ○○ (情報)

### 研究の概要

本研究は、興味・関心の全く違う生徒が混在する中で、個別指導が必要となる生徒に対しても、授業時間内に個別指導と同等以上の「生きる力」を育むことのできる授業の実践研究である。

授業で興味や関心を持ち続けて、自ら積極的に学習するために重要なのは『題材』、『グループ』、『情報共有』であることが授業の実践を通して分った。研究のきっかけは、学校設定科目の開設であったが、共通教科である「情報の科学」や「社会と情報」の科目に於いても十分活用できる内容である。

**【キーワード】** Web サイト作り, グループワーク, 相互評価, 自主性, 協調性, 情報収集, 情報発信, 表現, 進路, フリーソフト, 掲示板, チャット, 思考支援, 適性検査, 「生きる力」

### 1 はじめに

平成8年7月19日に公表された、中央教育審議会の第一次答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」の「(3) 今後における教育の在り方の基本的な方向」の中で、「このように考えるとき、(中略)我々は、こうした資質や能力を、変化の激しいこれからの社会を[生きる力]と称することとし、(以下略)」という文の中に「生きる力」という言葉が登場した。この頃生まれた子供たちは、いま高校生になっている。共通教科「情報」の目標は、「(前略)社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。」である。「情報」の目標を「生きる力」の観点に立ち返って見るとき、今を生きる高校生は、産業構造の変化の中、終身雇用から、少子高齢格差社会へと向かう現代においてまさに変化の激しいこれからの社会を生きなければならない。本校の現状はどうか。せっかく入社したのにすぐやめてしまった。AO入試で入学したけれどついていけない。そんな生徒が報告されつつある。バブル崩壊が平成3年2月、その年の3月に卒業した本校生の就職率は100%、当時求人票は5000社近くから来ていたという記録がある。1億総中流階級の横並び国民意識の頃の「生きる力」から、現代の「生きる力」へ飛躍できたのか。

情報関連産業が成長産業として登場して以降、IT、コンピュータ、デジタルアートなどの雑誌や専門学校、大学の宣伝など、さまざまなメディアの影響を受け、この分野に関心のある多くの子供が生み出され、それに呼応して「情報コース」という言葉の響きは情報コースのある高校に彼らを向かわせた。2年時の情報コース(1クラスで人数は40~41名)は、10~20名程度の情報関連の学校への進学希望者がおり、リーマンショック前まではそれ以外のコース選択者の多くも、明確に情報の科目自体に興味を持っていた。今も情報化の流れは変わらないが、産業構造の変化で終身雇用から、能力主義・格差社会へと向かう時代の流れを経て、情報関連の仕事を続けていかれるのかという周囲の心配や、ひたすらゲームに打ち込み、スマホを使い続けることに慣らされ、携帯代や生活費のためにアルバイトをしなければならない経済状況が見え隠れする。このような中で、ゲーム作りやアプリを作ることに心躍らせる時間がない生徒が増えた。今年度の2年情報コース(本校最後の情報コース)は1クラス33名しか希望者がいなかった。

このような状況の中、本校では新教育課程への移行とともに平成11年度に設置した「情報コー

ス」(表1)を、平成25年度入学生より廃止し、それに代わる情報教科の学校設定科目(表2)を2科目設定した。

表1 平成24年度入学生情報科の授業科目	
1 学年「情報の科学」	5クラス2単位
2 学年「ITリテラシーⅠ」情報コース	1クラス3単位 (HTML, CSS, JavaScript, Web サイト制作)
3 学年「ITリテラシーⅡ」情報コース	1クラス5単位 (Java 言語, ソフト作成)

表2 平成25年度入学生情報科の授業科目		
1 学年「情報の科学」	5クラス	2単位
2 学年「進路と情報Ⅰ」	選択科目	2単位 (新学校設定科目)
3 学年「進路と情報Ⅱ」	「進路と情報Ⅰ」選択者のみ選択可	2単位 (新学校設定科目)

コース廃止の理由として、Web ページ作成や、プログラムに興味のない多くの生徒が、就職を前提としたクラスや大学進学を目指すクラスでなく、情報コース(1クラス)を選択するようになったことが挙げられる。(表3)

表3 興味関心のない生徒の情報コース選択理由等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職はしたくないが勉強して大学に進学するつもりはない。消去法で情報コースを選択した。</li> <li>・情報関連の専門学校や大学には進学しないが勉強しなくても入れるところに進学したい。</li> <li>・情報コースを選択したのは、友達と同じクラスになりたかったから。</li> <li>・事務職に就きたいので、1年のときやった文書編集ソフトや表計算ソフトだけ使えればいい。</li> <li>・経済的理由で専門学校には進めない。2部に通ってまで情報関連の仕事に就きたいとは思わない。</li> </ul>	

「情報コースがあるから」という理由で本校を受験し、「授業をもっと速く進めてほしい。」という生徒と、「もっと授業をゆっくり進めてほしい。」といういい授業についてこない生徒がほぼ同じ割合で混在するようになった。これまで夏休みなどに、ついてこない生徒を対象に個別指導を行い、十分な効果をあげてきたが、授業についてこない生徒の増加に伴い、すべて個別指導で対処するには時間的限界が生じてきた。逆に言えば、Web ページ作成や、プログラムを前面に押し出す形の授業では、本校に入学してくる生徒全員のやる気を十分引き出せない状況になってきている。そこで本校では、情報コースを存続させるより別の道を選択することでより充実した学習活動を行うという道を選択した。その選択は(表4)の方針を頭に置き、新学校設定科目をつくるという選択であった。

表4 新学校設定科目開設の方針	
<p>これまで情報コースで蓄積してきた経験を生かし、「情報コースがあるから」という理由で本校を受験したような生徒のニーズに答えられるとともに、入社後すぐにやめなくてもいい職業選択や、AO入試で入学しても、授業についていく力をしっかり身に付けることができる。といった、「生きる力」を十分身に付ける基礎となる科目であること。</p>	

本研究はこの新学校設定科目開設の方針を踏まえ、「ITリテラシーⅠ」の目標に基づき、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てることにしっかり軸足を置き、授業内容に向けられる生徒の興味関心の二極化を解消し、確かな「生きる力」を育むことに取り組んだ授業実践に基づく研究である。

## 2 研究の目標

本研究では、「興味関心の二極化に伴う問題」を解決するために、新学校設定科目の目標(表5)にも盛り込まれているように、「進路」を題材とし、「進路決定」を興味関心の対象に選んだ。

表5 情報科の新「学校設定科目」の目標
学校設定科目「進路と情報Ⅰ」の目標 進路を題材とした総合的な情報活用の実践と、実践のための基礎的な理論によって、何が適切かを的確に判断し、意思決定ができる能力と、自ら課題を発見し解決することができる能力および情報を共有化して互いを高め成果を上げる態度や能力を伸ばすことを通し、情報を主体的に活用する能力と態度および、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
学校設定科目「進路と情報Ⅱ」の目標 進路決定に向けて、自ら発見した課題の解決を図る学習を通して、情報手段を用いながら、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

これらのことを踏まえ、新学校設定科目の目標を達成できる基礎となる授業につながる授業を、現学校設定科目の目標の範囲で実践研究する。具体的には、「進路」を題材とした授業が興味関心の二極化に伴う問題を解決できるか、更に、生きる力をより確実に育てるにはどのような形態の授業が効果的かを授業実践を通して明らかにしていく。このことが本研究の目標である。

## 3 仮説の設定と検証方法

### (1) 設定した仮説

進路決定を題材にしたWebサイトをグループで作る授業を行うことによって、興味関心の二極化に伴う問題を解決し、「生きる力」をより確実に育てるという目標が達成できるという仮説を設定した。ただし、発表や相互評価を取り入れ、思考支援ツール、掲示板、チャットなどのフリーソフトを利用し、また、Webサイトのコンテンツを有効に活用することによって目標の達成度を高めるものとした。

### (2) 設定した理由

これまでの経験から、情報コースを目指してきたような生徒の興味・関心に答えるにはWebページの作成やプログラムを扱うことが適切と思われるが、それ以外の生徒に、興味・関心を持たせるには、更なる工夫が必要である。今までWebページ作成のテーマとして、「学校ページ」、「趣味のページ」、「何でもいい」などを用いてきたが、「内容がなかなか決まらない。」「個別性が強すぎて、全体指導がしにくい。」などといった問題があった。「進路決定」を題材に選んだのは、これらの問題が避けられると同時に、非常に現実的な避けることのできないテーマなので、関心を持ちやすく、現実の行動に結びつき、結果にも反映されるという考えに基づくもので、授業実践によってその効果を検証することができる。

### (3) 検証方法

仮説に基づく授業を行い生徒へのアンケートを分析し目標を達成したか、その効果を検証する。

## 4 授業の流れ、授業方法・授業内容と留意点

### (1) 授業の流れ

- ・ Web ページの作り方の基本を学習する。
- ・ Web ページ作成に当たって進路希望の確認をする。
- ・ 適職診断の Web サイトを利用し、学習の動機付けをする。
- ・ 職業別就職情報などの Web サイトを利用し、学習の動機付けをする。
- ・ 思考支援ツールを利用し、現在から進路が決定するまでのシナリオを作る。
- ・ Web ページ作成のためのグループを作る。
- ・ 入口ページ作成。   ・ Web ページ作成。   ・ Web ページの紹介をする。

### (2) 授業方法・授業内容と留意点

#### ア Web ページの作り方について

現学校設定科目（3単位）の中での取り組みのため、2学期前半の授業まで HTML 言語だけでなく時間をかけて CSS や JavaScript を含めての指導を行っている。新学校設定科目（2単位）では、1学期中に習得できるように内容を精選し、不足する分を、Web ページの作成を行いながら生徒自ら Web サイトで作り方を調べられるように指導する。

#### イ 進路希望の確認について

本人が、掲示板に書いても良いという範囲で内容を書かせ、その場で把握する。自分の進路が知られたくない者に対しては、興味のある架空もしくは、広い範囲の希望を書かせる。

#### ウ 現在から進路が決まるまでのシナリオをつくるにあたって

希望進路が、「わからない、何も決まっていません。」という場合にも対応できる様に、数種類の適職診断を用意し、職業別就職情報などを利用し、進路選択の動機付けを確実に行う。またその効果をアンケートで確認する。この場合も、掲示板を利用する。（これ以外も特にことわらないが、アンケートのほとんどは、掲示板を利用する。）

#### エ 思考支援ツールについて

進路決定までの過程を考え、Web サイトの構成を考える材料にする。

#### オ グループの作り方について

グループを作る際「Web サイトを協力して作る人達」という条件以外に条件を付けない。また、1人で作ったほうがよいと思う人は1人でもよいとする。これによって、「自分が望んでいないグループに入れられた」という気持ちや、「他人が作った班だ」、「やらされている」といった気持ちを取り去られ、より主体的に活動することが期待される。更に、「類は友を呼ぶ」と言われる様に、同じ程度の基礎力をもつグループが出来ると期待され、メンバー間の理解度の差が少なく、グループ毎の指導がしやすくなることを期待した。

#### カ 入口ページについて

各グループが制作しているサイトに、リアルタイムでリンク出来る入口となるページで、各生徒のデスクトップに入口ページへのショートカットが置かれている。

#### キ Web サイトの制作について

進路決定に役立つページを Web サイトから検索して、リンクを張らせる。その際、著作権を守り、マナーにも注意を払わせる。また、自分で調べたことをページに盛り込んでいく。

また、見やすくわかりやすいレイアウトなど、グループで工夫させ、Web サイトにある「ページの作り方」等も参考にさせる。制作にあたって調べた事についてのアンケートをとると共に、グループのメンバーどうしの情報交換に、チャットを利用することで、制作状況をリアルタイムで把握し、適宜アドバイスをする。

#### ク 作製中の Web サイト紹介について

Web サイトを制作している途中に複数回、サイトの紹介や、サイトを作るにあたって工夫した所や考慮した所などの発表を行い、掲示板を用いて、生徒同士相互評価をする。

### 5 仮説検証のためのデータ（アンケート結果、生徒作品、生徒同士のやりとり）

対象 第2学年 情報コース 39名（ITリテラシーⅠ：3単位）

#### （1）Web ページの作り方を学習した段階での希望進路先決定状況（アンケート：図1）

2年の11月時点で進路希望内容が明確な生徒は1割で中には具体性に乏しいものもある。

ア 希望進路先が（全く・殆ど）決まっていない人に聞きます。進路先を決めるためにどんなことをしようと思いますか。

- ・自分が何になりたいかまだはっきりしていないから、ある程度ちゃんと調べて、決める。
- ・大学を調べてからもし進学したいと思う所があれば進学してなければやってみたいと思う仕事を探す。
- ・とりあえず就職希望だけでも興味のある分野や将来どうしたいかちゃんと調べたり考えたりして決める。
- ・就職することはきめているけど職種とか全く決まっていない。自分がどんなところなら働けるか考える。

イ 希望進路先が（ある程度・なんとなく）決まっている人に聞きます。進路先をはっきり決めるためにどんなことをしようと思いますか。

- ・資格を取得し色々なオープンキャンパスに行ってみる。
- ・いろいろな大学について調べる。
- ・進学希望だから、自分がどういう大学に行きたいか決める。
- ・前に教えてもらった学校に行ってみてそこからまた考えようかなと思っている。
- ・ある程度決まっているが、やりたいことが多すぎてなかなか一つに絞れないがとりあえず好きなことをやっていけばそのうちわかると思う。まずは、自分の一番好きなことを見つけられるように頑張る。
- ・資料を読んで、留学先の学校を決める。滞在するための住む場所を確保する。簡単な言語をマスターする。

ウ 希望進路先が（はっきり）決まっている人に聞きます。進路先を確実に決めるためにどんなことをしようと思いますか。

- ・大体やりたいことは決まっているので、後は成績を落とさず、また自分に合う専門学校か大学を調べる。・その分野の大学とか専門学校を調べる。・専門に行って資格を取る。
- ・行きたい学校は決まっているけど他にも色々な専門学校を調べる。

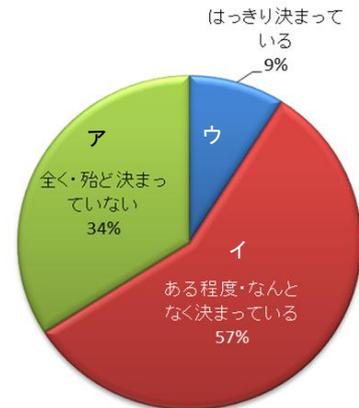


図1 希望進路先は決まっていますか  
（調査日：11月1日）

#### （2）サイト制作にあたり動機づけの1つとして使用したサイトと適職診断実施後のアンケート

『こころの翼 <http://www.sinritest.com/>』は、心理テストや性格診断ができ、適職診断（無料）には興味・関心編、能力スキル診断、性格診断編などがあり、就職活動の自己分析の参考になる。11月7日に適職診断テストの興味関心編を実施後のアンケート結果が以下である。

自分の進路に対する考え方に再度焦点を当てる機会となり、その後の動機づけになっている。

##### 適職診断（興味関心編）の結果を見て感じたこと

- ・全然違う。・少しだけあてはまっていた。・思ったより、合っていた。・私のやりたい職業の点数が少し低くて自信が少しなくなったけど、あきらめずに頑張っていけたらいいと思いました。・奉仕の興味が一番高かった。まあまあ合っていたよー＼(^o^)/。・よそぞおりだとおもった。・意外な職業が向いていた。・参考になった。・結構良かった。・全体的になにかがすごい

くすぐれているわけでもないみたいだった。点数的に一番高かったのが事務業みたい。・普通が多いなーと思った。平均的だ。すごく当てはまっていたと思う。・ほとんど普通だったので、判断に困った。でもなんとなく、あっている部分はあったと思う。・全部普通で結局わからなくて残念だった。・やはり技巧的興味と機械的興味が高いので、将来は、道具を使う、機械関係の仕事をしたいと思う。・興味ある仕事にまああ向いているらしかった！！でも、あんまり高くなかった\(^0^)/。・まあ案外、自分のやりたいこととあっていたな。やっぱり事務的仕事がやりたい。・なんとなく当てはまっていた・興味のある仕事に割と、向いている様だった。・なんとなく予想していた結果だった。

### (3) サイト制作の動機づけの1つとして使用したサイトとサイト閲覧後のアンケート

『職業別就職情報 <http://sigoto119.seesaa.net/>』

『日本標準産業分類 <http://www.stat.go.jp/index/seido/sangyo/19-3.htm>』

『日本標準職業分類 [http://www.stat.go.jp/index/seido/shokgyou/kou\\_h21.htm](http://www.stat.go.jp/index/seido/shokgyou/kou_h21.htm)』

11月7日にこれらのサイトを閲覧した後に行ったアンケート結果は以下の通り。

種々の仕事があることを知り、仕事の詳細やなるための方法を知る機会となり関心が高まる。

**ア 職業別就職情報のサイトを見て、興味のある仕事は何ですか。リストアップして下さい。**

CG IT関係 SE アニメ関係 イラストレーター クリエーター ゲーム関係 ゲームクリエイター ゲーム書籍関係 システムエンジニア スクリプター スター スタイリスト デザイナー ネイル パイロット プログラマー ミュージシャン 保育士 調理師 薬剤師 理容師 美容師 教師 幼稚園の先生 小学校の先生 公務員 獣医 精神科の医師 心理学者 動物園の飼育員 生物研究 生物系 工業系 服飾関係 漫画家 小説家 俳優 吉本 編集関係 まあいろいろ！ 気になるのがなかった 何も思いつかない

**イ 仕事を1つ選ぶとしたら何を選びますか。**

アニメ関係 イラストレーター クリエーター ゲーム関係 ゲームクリエイター システムエンジニア スクリプター デザイナー プログラマー 一般事務 調理師 保育士 機械関係の技術者 教師 公務員 動物園 水族館の人

### (4) 進路決定までの過程を考えるために『思考支援ツール IdeaFragment2』を使用して作成した生徒のアイデア (図2)

アイデアを次々に出しながら分類整理が出来、Web ページなどへのリンクを張ることができる。

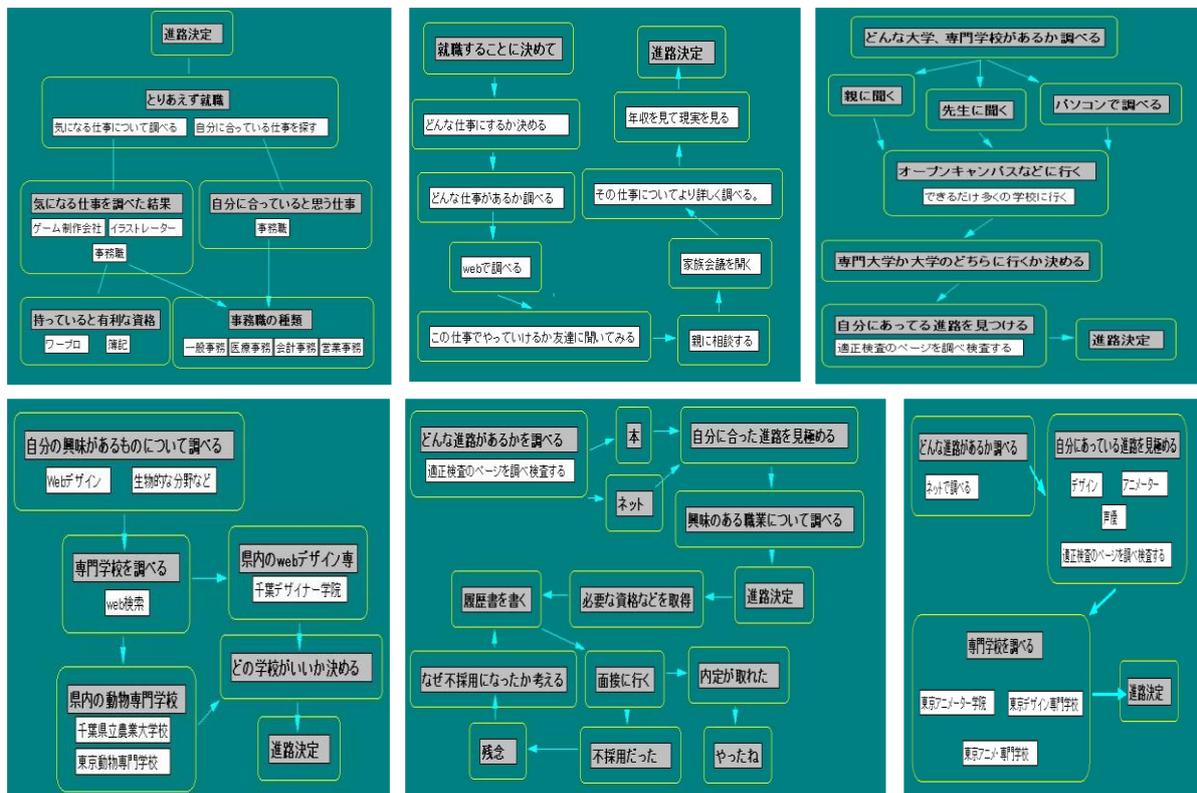


図2 生徒作品 (一部)



## ○より良いものを求めている様子

12:13 大学のやつ12:13 みすったw12:14 大学の分野が決まってない人用に探すあれ12:14http://yumenavi.info/index\_pc.aspx  
12:26http://shingaku.mynavi.jp/future/gakumon/category12:26 下のほうが見やすいかも12:31 人気の大学ランキング(クチコミ) ↓12:31 ttp://kuchiran.jp/business/college.html

## ○情報交換の様子

10:44 画像のサイズどうした?09:49 解決した 11:59http://ww2.ttcn.ne.jp/honkawa/3165.html12:02 資格の情報 http://auc.bi-studio.org/12:04  
戦後から現代までの就職率推移 http://www.gakugonews.net/archives/164965.html12:06 就職率推移平成23年まで http://shinorom.blog3.fc2.com/blog-entry-860.html12:07  
大卒就職率推移 http://ww2.ttcn.ne.jp/honkawa/3160.html12:08 上間違え12:08http://www.asahi.com/job/news/TKY201205150132.html こっちが  
正解12:09 専門学校就職率推移2011年まで http://tsk-school.com/employment/12:11 就職面接対策 http://www.mensetsunououdo.com/  
11:54 えーとさ、だれか色覚えてる方いませんか?11:55 背景とかの11:57http://siriasu.s10.xrea.com/11:57 タグ一覧  
があるぜ11:58http://saitama.holy.jp

## ○リーダーが現れ、共同作業、役割分担ができて行く様子

09:52 前回の最後って何追加した?09:54 覚えてない09:58 あと link のタグ target="" ってなってるだろうからそこに  
openWindow っていうのを 09:59 全部に 10:01 やつといた 10:01 と思ったらこれ全部やる必要ないのかよ 10:02 え  
10:02 必要だと思って仕様変更したのに 10:02 まあいいや、java のリンクは必ずせよいだけだし 10:02 そのままでいい  
よ 10:02 やっちゃったよ・・・ 10:03 そのままでいい 10:03 え〜と〜 10:03 戻す? 10:03 戻さなくていい 10:03  
openWindow そのまま? 10:03 そのまま残して 10:03 うぬ 10:04 とうか java なしで openWindow だけにしてもこれはこれ  
でありかもしん 10:06 詳細ボタンは? 10:06 それはいじらん 10:06 うぬ 10:06 とうかそれ消してどうする 10:06  
^; 10:08 さて、この「個人が担当したページ」はいま作ってるのをあてがうとして 10:08 グループで作ったページがない  
んだが 10:08 う〜ん 10:09 何その「個人が担当したページ」って 10:09 プリント 4. のとこ 10:11 本当だ 10:11 ん  
〜 10:11 グループでひとつ作らなきゃいけないのか 10:12 作成の感想でも書いてく化 10:12 担当ページとその感想みた  
いな 10:13 担当したページ無い人どうすればいいんだ〜! 10:13 ... 10:13 あ、いたの 10:13 一生懸命  
コピーしました! とかは? 10:13 w 10:13 なんとうか・・・ 10:14 今からでもページ作れるんじゃないか? 10:15 就職、  
進学、ランキング、あとは? 10:16 サイトマップ? 10:16 それがあったか 10:16 うぬ 10:16 つくれななし 能力的に  
10:16 お前が作る必要はない 10:16 うぬ 10:17 ... 10:17 まあ・・・ 10:17 ... 10:17 セリフは? 10:17  
ファイル名が kozin になってればいいし 10:17 つくった? 10:17 ww 10:17 何の・・・? 10:17 ん〜と〜 10:17 発表  
の〜 10:17 せりふ〜 10:18 発表原稿 10:18 うぬ 10:18 なくてもいいんだけどね・・・ 10:18 絶対にボロが出る・・・  
10:19 でも何もしないよりはいいのでは... 10:19 サイトマップ誰か頼む、ページの簡単な説明と担当を書いて 10:19 事  
ゆとこ 10:19 ん〜 10:19 テンプレは top 使えばいいや 10:19 ? 10:19 作れっかな〜 10:19 ? 10:20 link とやること  
変わらない 10:20 ? 10:20 なら link をテンプレにすればいいか 10:20 うぬ 10:20 ? 10:21 それと各自感想を txt に  
書いて共有に移して 10:21 ファイル名がぶらないように 10:21 ん〜だめだ〜 10:21 なんかふくぎつ〜 10:21 リンクどうや  
ってつくるんだっけ〜 10:22 じゃあ担当逆だ、そっちが感想のページ頼む 10:22 うぬ〜? 10:25 (?\_?) 10:26 感想って  
「〇〇を作った〇〇です。〜でした。」みたいな感じでおk ? 10:26 そんなんでいいや 10:26 ファイル名がぶらんように  
ファイル名に自分の出席番号入れといて 10:30 感想作ったよ? 10:30 共有にコピー 10:30 t x t 送っとくね〜 10:31 確  
認 10:31 そろそろあれだ 10:31 それと★、お前はサイトマップ作ったことになってるから作った気になって感想かけ  
10:31 ページ更新したほうがいいんじゃない? 10:31 link とか〜 10:32 ンじゃ各自最新版を共有に 10:32 こっちでま  
とめる 10:32 あ〜 10:32 link2 のタイトルが 10:32 LIN で切れてるから 10:33 なおしといて〜 10:33 やつと気づいた  
か 10:34 LINK (進学) に変えといて〜 10:34 同じこと考えてる上にこっちはちゃんとできる手氏 10:34 あい 10:34 あり  
〜 10:34 全員細心にした? 10:34 最新 10:35 どこを? 10:35 link 10:35 あ 10:35 もうコピーしていいの? 10:35 細  
心のを張り付けた? 10:35 まだ 10:35 あら 10:35 お 10:35 なった・・・ 10:37 感想は入れといた 10:37  
あしたでおわりか〜 10:37 あ 10:37 最新って link2 とかのことか〜

## (7) 生徒の作った進路の Web サイト作品の一部

The image shows a collection of student-made web pages. On the left is a pink-themed page titled "ダラダラ界" (DaraDara World) with a navigation menu and text. On the right are two screenshots of a website named "PaaSE-tenbo" with a blue header and navigation tabs for "進路" (Career) and "外部リンク" (External Links).





## ○ 進路に関するサイトを作るにあたり、閲覧する人を考慮し工夫したところ。(自ら創意工夫をしている)

アパレル業界について、どういう仕事をするのか気になる人もいると思うから調べた。  
おんなじ学生でも使いやすくすることを目標にして作ってみた。  
心の翼とか、就職ランキングなどをいれてあまり関心がない人にも関心を持ってもらえるようにした。  
進学という意味を説明するために、リンクの前にウィキペディアからその意味の内容を引用した。  
進路の決まっていない人(これからそのつもの人)向けに合うサイトをリンクページに掲載しました。  
専門か大学か本当に悩んでいる人の為に学校のいい所や悪いところを簡潔に詳しく箇条書きで記載した。  
大学、専門、就職、浪人などほとんどの人に当てはまる進路のページを作成した。  
大学と専門学校の具体的な違いを始めの方に記載して良い所悪い所の差を大きく出せるようにした。  
大学などは、1つの大学だけでなく系統が違う大学のページを作成した。  
大学のメリット・デメリットについて見やすくきれいにまとめた。そうすれば大学進学を悩んでいる人の役に少しでもなれるかもしれない。  
大学ランキングを詳しく調べた。  
男子向けにトレーディングカードゲームの要素を、女子向けに料理のレシピ(カレー)なども取り入れ、息抜きにもなる、進路サイトに仕上げました。  
能力や「近場である」などの条件に合った大学を選びリンクページに掲載することにより、進学先を見つけやすい仕様になりました。

## ○ 進路に関する Web サイトをつくり、サイトづくりに関連することで知ったこと。(積極的に調べている)

・CSSにはいろいろな機能がたくさんあることを知った。・CSSは別の場所にあると適応されないから気を付ける。・Ctrl + A → Ctrl + C がとても便利だった。・div要素を使用して複数の要素をグループ化するやりかたを理解した。HTMLのタグや要素に題名をつけるとCSSをその部分だけ適応させることができる。・i\_view32.exeで画像圧縮をした。・JavaScriptは別で用意しなくてもhtmlに組み込めること。・li要素を使うと画面が見やすくなる。・Webサイトは団体で一つのページを作るのではなく、担当ページを分けて作るものと思った。・Web上には本当に色々な人の考えや意見があるのと同時に全く違う情報もあるのでどれが正しいのか自分が納得いくまで詳しく調べる事が必要だと思った。・Wikiペディアの万能差に気が付いた←内容などの参考になる。・アイコンの作り方を知った。・クリックしたときに表示される速度?を変えられること。・サイトデザインに関するフリーサイトがあることを知った。・(個人サイトや企業向けなど様々なサイトの形が提供されていた)・サイトを作るときに、top.htmlや、index.htmlなど一つのところからではなく、色々なところから作るのが分かった。・サイトを作るのは手難しいことだがその情報を見て感謝してくれる人がいてくれると、とてもやりがいがある。・ジャバスクリプトの重要性が改めてわかった。・スタイルシートで設定するだけで画像の位置や文字の大きさが自由に変えられることがわかりました。・スタイルシートなどにコメントを挿入することによって想像以上に使いやすく、編集しやすくなったこと。・スタイルシートをいくつか組み合わせることで使うことによって、同じサイト内でもページごとにバリエーションを出せるようになること。・タグやCSSをこの機会に見直したせいもあってか、自分で経営しているサイトにも、授業で習った(使った)タグを使用出来るようになって、閲覧数も増え、見やすいサイトになったので苦労して学習しといて良かったと思う。・デザインのフリーサイトがあることを知った。でもちゃんと教えてもらって打ち込み頑張ったよ。・テンプレートや素材などwebで調べたら結構出てきたのでとても参考になりました。・ネット上にはWebサイトを作る際、様々な(Webサイトを作る際の)紹介をするサイトがたくさんあった。・フリー素材はフリーだけにそれぞれ、商業利用と非商業利用の区別をしているところがそれぞれの配布もとによりけりだということ。・ホームページの背景のつけ方を今回授業で自分で調べてわかりました。・もうしたくないね。アタシの頭じゃ無理があった。よく分からない言葉が多かった。・リンクスタイルの適用の仕方を学んだ。これがあるだけでどこを訪問済みかわかってとても良い。・リンクをつなげるにもわかりやすいサイトを探すことに苦労すると知った。・レイアウト決めるときにほかのグループが普通のwebページ参考にしていたので、こうやりかたもあったのかって知りました。・ロゴを作る際ロゴレーターを使えるということを知った。・一部だけ表示にしたり線を引いたり色を付けたりいろいろできることを知った。・画像にもリンクを付けられること。・サイズ変更でGIMPをつかった。・顔文字ってこんな風に動かせるのかとわかりました。・参考にするために色々なサイトを見て回ったがどのサイトも個性があって面白かった。・自分たちがまだ知らないCSSなどの技術がまだまだいっぱいあることを知った。・自分で作ったサイトはまず自分が使いやすいなあとってから他の人の意見などを取り入れていけばいいサイトになることを知った。・自分の好きなように装飾できるから楽しい。・詳細ボタン機能には多くのテンプレートがあり、自由に変えることができる。・色の指定方法を再確認できた。混色難しい。・他のサイトの情報を、無断で記載しないようにそのサイトの名前を文の最後に書いておく。・団体で作ることができる。・著作権がある。・調べたことをただ書くのではなく少し画像を入れたりするだけですごく見やすくなる。・入口ページが作れること。・入口ページとトップページはバラバラで作成していること。・年ごとに就職先や進学先の比率が全然違うことがわかった。・表示が崩れてしまい廃止になった案で、ページ上のリンクをページ下にも、というのがあった。・背景の色や、文字の色、文字の大きさなどを変えると見やすくなりやすい。・発表を見ていてサイトのデザインが自分の知らないデザインがあったので非常に参考になった。・複数の人数でやるのにやっぱしチームワークや話し合いが大切だと思いました。・文字を左右などに動かせること。・壁紙がスクロールできないように設定できること。・本文を囲む<fieldset>。・タグひとつで囲めるなんて知らなかったのが驚いた。

## ○ 進路に関する Web サイトをつくるのに技術面で工夫したこと。(知識を総合し、考え創造している)

・<marquee direction="right">を使って文字が動くようにした。・AA(アスキーアート)が崩れないように表示させた。・CSSでマウスカーソルに反応させ、リンクのボタンのところが色が変わるようにした。・HP全体で目に入る部分(Fの法則)をポイントにして、そこにどういサイトであるかわかるように書いた。・Javascriptを別のファイルで用意して、リンクさせる(今回は詳細ボタン)タイプと直接htmlに組み込めるタイプ(トップページ下の文字ウィンドウ)の2種類を使って簡略化(?)した。・顔文字を動かしてみました。・すべてのページにロゴを入れることによりこの内なのかそうでないのかの区別をつけやすくした。・トップページの下の方にページトップへ戻るボタンをジャバスプリクトで書いた←これ授業で習ってない。・ネットで調べて授業でやってない技術を使ってみた。・ページを見やすいように名前別で分けた!・スタイルシートをページごとに分けた。・.lin{ list-style-type:none; display:inline; padding-right:20px;}等を利用した。・4人がホームページの土台(内容)を考えて1人の人がデザインなどをしてその人が完成したものをほかの4人がコピーするようにして作りました。・リンク先に行く前に内容を把握できるようリストと詳細を簡潔にまとめた。・リンク先の「大学・専門学校・就職」に飛んでいただくと、それぞれみんな進路が違いますので、「大学・専門学校・就職の探しやすいサイトをつけてみました。・ロゴがアスキーアートという文字でできた絵であるが、文字のままコピーすると改行が大変なので画像にした。・ホームページに飛ぶ際新しいタブが出るようにした。・以前学習したCSSを利用して、親しみやすいデザインにしました。・画像が動くアニメーション機能を取り入れた。・画像の上に文字を浮かせる際に、文字の色と画像の色がかぶって見えなくならないように、文字の色を画像に合わせて変えた。・各リンク先サイトの簡単な説明を詳細ボタンを使って表示、非表示を切り替えられるようにした。・拡張子でgifをつかい背景の上にキャラクターが浮かび上がらせるようにした。・項目を枠で区切り、文字の説明を見やすくした。・謝辞などを見つけやすく、かつ、くどくない様にサイドメニュー的な立ち位置にして、見えるようにした。・グループ内に女子が多かったのもあったので女子が気軽に使えるようにピンクっぽくしました。・誰もが見やすいと思える、シンプルなデザインにしたこと。・知りたい情報だけを知れるようにそれぞれ編、編という風に分けて書いた。・背景が小さめで固定だと隠れて白だけでおもしろみがないのでスクロールしても背景画像はそのままになるような設定をCSSで行った。・背景はシンプルに「青い空」の感じで、このサイトをご覧になっている人に可愛いなと思っていたらなと思いきこの背景にしました。・本名は出さない。・背景画像で読みにくくならないように<fieldset>タグを使い、本文を囲んだ。・文字の色とか見やすいように背景を暗めにして文字を明るい色にしてみた。・浪人のページの画像を動かす。

## (9) グループで制作したサイトの紹介を1チーム3回行い、相互評価を行った。

良い点を指摘するものも多く、改善点の指摘も相手の気持ちを考慮しながら鋭い指摘が多い。

### ○相互評価の一部

・大学ランキングの上位3位ぐらいの大学のサイトとか貼ったらイカモしれぬ!・全体的に見やすくてヨカッタ!・仕事早すぎだろ・画像があればもっとよかった。・すごいデスネ リンク先とか作っちゃって何者。コワイ。・文字が小さい 色もおめめがチカチカする。・わかりやすくいろいろ進路の方向があつてよかったと思った 色も変えてあつてわかりやすかったですとても参考になりましたー・説明がとてもわかりやすかった!・パッと見て見やすかったッス これをパクr(r y見本にしようと思った。・サイト作りの参考になった素早くわかりやすい 面白みがあった。 r(r ^o^ ) r参考になりました r(r ^o^ ) r 発表の仕方が前回より良かったです!・文字の色をもっと調節したらもっと見やすくなると思います。・素材がどこからもってきたのか知りたいかも・背景が綺麗だった。・前回よりも見やすくなっていて本格的だった。・どこのサイトを参考にしたのが地味に知れたかった。GUDAGUDA だったでもサイトは綺麗にできていた。文章をもっとコンパクトにすると見やすくなると思います。・クオリティが高くてよかったと思う サイトはコンパクトで見やすかった。ページが整理されていて綺麗だった!シンプルなデザインがいいと思う!進路ごとに分けられていて見やすかった。完成度高かった!丸々コピーじゃなくて少し添削すればもっと見やすくなると思う。注意事項をもっと丁寧に書いたほうが良いと思う。・よくまとまっているなと思った反面、文字数が少し多いような気がしました。専門学校や大学、フリーターについてまとめられていてよかった。でも、少し文字が多いため読むのが大変。配色などがきれいで見えてよかった。就職だけのページなど作れば文字数が多くても少しは見やすくなると思う。・声が大きくてよかった。・発表のとき何をいうかまとめてなかった。次はまとめたたい。・質素だが見やすくてよかった。声は聴きやすかった良いと思う。ページがシンプルで、どこに何があるかわかりやすいつくりでよかった。・HPがかわって見やすくなった。topページが丁寧できれいだった。口調が聞きやすかった。トップはまだまだでしたが〇〇氏の発表演説により何とか発表できました。個人のページの発想がいいと思う。・仕上がってきましたね(^ω^)。前回より個人ページが増えていて良かった。HPのつくりがおもしろい。やったことを生かしているいいと思う。リンクを同じタブで開いてなくて、新しいウィンドウで開いていたのがよかったと思う。・少し疲れたときにあやうページがあると助かると思う。・進路のことだけでなく自分の趣味についてもよくまとめられていてよかった。リンクや謝辞などをもっとちゃんとすればもっとよくなると思う。・topページが綺麗にまとめられていたので今後の変わり方に期待。声がとっても聴きやすい声だった!!ページもかわいくて、見やすくてすごくよかった。( ^o^ )・顔文字が可愛い!とりあえず一回目の発表を終えることができてよかったです。・就職の人にはすごくいいサイトだと思った。・文字がうごくところに遊び心があつてよかった。以前より慣れた感じで声も出ていたし、よかった。発表3回目!全体的にできてよかったとおもいました!・浪人のページがめっちゃくちゃ気になったwww。( ^o^ )・非常に安定感があり画像の活用がうまいと思いました

## 6 仮説の検証（「5 仮説検証のためのデータ」の分析による）

### （1）興味・関心の全く違う生徒にとって、興味・関心を引く内容設定であったか。

「（8）授業を受けてのアンケート結果」の「○進路に関する Web サイトをつくり、サイトづくりに関連することで知ったこと。」の中に「もうしたくないね。アタシの頭じゃ無理があった。よく分からない言葉が多かった。」という記述があった。その他のアンケート部分も含め、総合的に判断すると、『題材』を「進路決定」としたことで一定の成果は得られている一方、HTML や CSS、JavaScript の導入方法には、更にやさしい解説が必要であり、また授業が進む前に当該生徒を発見する会話が必要であったことが分かった。

### （2）授業時間内に個別指導をどう行うかの問題が解決したか。

この点に関しては、「（8）授業を受けてのアンケート結果」を見る限り、生徒が得た知識や体験したことが、生徒が自主的に、生徒相互あるいは Web サイトの検索によって得られたもので、教師が講義形式で授業をするより遥かに効果的だといえる。これは、「（6）チャットを用いて実際に行われたやりとりの一部」にも見られるように、このようなやり取りがこの形式の授業を行っているときは、同時にいたるところで行われるからであり、『グループ』分けの条件もこの実践に適していたといえる。なお、タイプ練習は、1年次に毎時間授業の始めに数分間やっており、チャットでタイプしているうちに自然にかなり速く打てるようになっていた。

### （3）「生きる力」の育成に寄与したか。

他のグループの様子に分る入口ページ「（5）各グループが制作しているサイトにリアルタイムでリンク出来る入口となるページ。」や発表体験「（9）グループで制作したサイトの紹介を1チーム3回行い、相互評価を行った。」により作品の閲覧や発表、相互評価などの様々な『情報共有』が行われることで、関心や意欲が高まった。また、グループでの発表や Web サイト制作にあたり、他人とともに協調しあい、また動機付けになるサイトを出発点に自ら課題を見つけ、Web サイトで知識を得、自ら考え、理解し、状況を踏まえながら作品の中に個性を生かし新しいものとして表現している。更に、作ったサイトは後輩や同級生に役立てられ社会貢献にもなりうる。「5 仮説検証のためのデータ（アンケート結果、生徒作品、生徒同士のやりとり）」を総合的に見れば、これら、主体的に判断し、よりよく問題を解決するという活動が行われたといえる。

## 7 まとめ

本授業実践の結果、「進路選択」を題材としたこの形の授業は、生徒の興味関心を一つに集めることができ、更に、生徒同士の学びあいを軸とした個別指導以上の活発な学習活動が期待できることが分かった。生徒自ら、仲間と協力しあい、新しいものを創造し、そこで生じる問題を積極的に解決していくという体験が自然にかつ効果的にこの授業で行われていた。このことが、「生きる力」の育成につながるかどうか、この授業を受けた生徒の卒業後が楽しみである。今後、具体的な活動にどう結び付けていくかについては、スケジュール管理プログラム（Schedule Watcher などのフリーソフト）を利用し、具体的な日程をスケジュール表に書き込み行動を起こす。文書作成ソフトで履歴書や小論文を書く（伝える技術）。面接練習をする（伝える技術、聞く能力）。就職試験例題集を見る（情報収集）。求人票を見る（情報判断）。パンフレットを取り寄せる（情報収集、行動）、アプローチする。（行動）、説明会・見学に行く。（行動）などを合わせることで、更に発展させることができる。

## 8 おわりに

変化の激しい今の社会を流行と不易を見極め、自己実現を図りながら、考え、行動し、互いに力を合わせて、新しい社会を生み出していく。そんな「生きる力」の育成に本研究が役に立てば幸いである。

## 9 参考資料

### （1）アンケートをとるのに使用した掲示板

LAN 内でメッセージのやり取りと掲示板が利用できるソフトウェア

【ソフト名】ND 掲示板【Version】1.3R3【作成者】まる【配布形態】フリーウェア

【配布元】<http://www.backyard.jyate.net/nd/>, <http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/net/se240630.html>

## (2) 作成した JScript プログラム

ND 掲示板は、タイトルとメッセージの履歴が XML 文書で保存されるため、Excel ファイルへデータを転送する JScript プログラムを作り、アンケートや評価の処理は Excel で行った。以下の JScript ファイル（拡張子は.js にする。）が保存されているフォルダと同じフォルダに、XML ファイル(ファイル名は BoardData.xml)と出力 Excel ファイル(ファイル名は BoardData.xls)を保存してスクリプトを実行する。

```
var bool; // フラグ用変数 (真偽専用)
var strFileNameXML=String("BoardData.xml"); // 読み込みXMLファイル名 (文字列オブジェクト)
var strFileNameExcel=String("BoardData.xls"); // 出力エクセルファイル名 (文字列オブジェクト)
// エクセルアプリケーションのオブジェクト生成
var objExcelApp=WScript.CreateObject("Excel.Application","ExcelApp_");
// この J スクリプトのファイルのあるパス名を取得 (文字列オブジェクト)
var strScriPath=String(WScript.ScriptFullName).replace(WScript.ScriptName,"");
// スクリプトのファイル専用のオブジェクトの生成
var objScriFSOb=WScript.CreateObject("Scripting.FileSystemObject");
// 読み込みXMLファイルのフルパス名に関連付けられたスクリプトのファイル専用のオブジェクト生成
var strFullPathXML=objScriFSOb.BuildPath(strScriPath,strFileNameXML);
// 出力エクセルファイルのフルパス名に生成関連付けられたスクリプトのファイル専用のオブジェクト生成
var strFullPathExcel=objScriFSOb.BuildPath(strScriPath,strFileNameExcel);
// エクセルアプリケーションオブジェクトのワークシートオブジェクトの生成
var objWorkbook=objExcelApp.Workbooks.Open(strFullPathExcel);
// エクセルアプリケーションオブジェクトのワークシートオブジェクトの Sheet1 ワークシートのオブジェクト生成
var objWoSheet1=objWorkbook.WorkSheets("Sheet1");
// エクセルアプリケーションオブジェクトのワークシートオブジェクトの Sheet2 ワークシートのオブジェクト生成
var objWoSheet2=objWorkbook.WorkSheets("Sheet2");
// エクセルアプリケーションオブジェクトのワークシートオブジェクトの Sheet3 ワークシートのオブジェクト生成
var objWoSheet3=objWorkbook.WorkSheets("Sheet3");
// エクセルアプリケーションのオブジェクトの可視化
objExcelApp.Visible=true;
// XML のDOMに関連付けられた ActiveX オブジェクトの生成
xml_doc = new ActiveXObject("Microsoft.XMLDOM");
// データ転送時に同期をとる
xml_doc.async = false;
// 読み込みXMLファイルのフルパス名に関連付けられたスクリプトのファイル専用のオブジェクトを
// XML のDOMに関連付けられた ActiveX オブジェクトへロードする
xml_doc.load(strFullPathXML);
// 子ノードの個数回繰り返す
for(i=0; i<xml_doc.documentElement.childNodes.length; i++){
// i 番目の子ノードの持つ属性数(JJ)回繰り返す i 番目の子ノードの持つ各属性の属性値の文字(B)を抜き出し
// Sheet1 のワークシートの(i+2,j+1)セルに値として入力
    for(j=0; j<(JJ=xml_doc.documentElement.childNodes.item(i).attributes.length); j++){
        B=xml_doc.documentElement.childNodes.item(i).attributes.item(j).text;
        objWoSheet1.Cells(i+2,j+1).value=B;
    }
// i 番目の子ノードの持つ子ノードの数回繰り返す i 番目の子ノードの持つ子ノードの名前を文字(D)として抜き出し
// Sheet1 のワークシートの(i+2,j+JJ+1)セルに値として入力する
    for(j=0; j<xml_doc.documentElement.childNodes.item(i).childNodes.length; j++){
        D=xml_doc.documentElement.childNodes.item(i).childNodes.item(j).text;
        objWoSheet1.Cells(i+2,j+JJ+1).value=D;
    }
}
WScript.Echo("別名で保存してください");
objExcelApp = null; // エクセルアプリケーションのオブジェクトへの参照を解除
objScriFSOb = null; // スクリプトのファイル専用のオブジェクトへの参照を解除
```

## (3) サイトを制作するためにグループで話し合うために使用したチャット

LAN で接続された複数の Windows マシンでチャットを行うためのソフトウェア  
【ソフト名】Lancaster 【Version】1.03 【作成者】須藤 正人 【配布形態】フリーウェア  
【配布元】<http://www.sutosoft.com/room/archives/000008.html>

## (4) サイトを制作するにあたり進路決定までの過程を考えるために使用したソフト。

思考支援ソフトで、アイデアを書き出し、グループ化、関連付け、リンクもできる。  
【ソフト名】IdeaFragment2 【Version】2.03 【作成者】ねこみみ/須藤幸一 【配布形態】フリーウェア  
【配布元】<http://nekomimi.la.coccan.jp/freesoft/ideafrg2.htm>

## (5) 生徒が参考にした Web サイト, 生徒がリンクを張った Web サイト (一部)

スター電気株式会社>新規採用情報>就職とは『<http://www.stardk.co.jp/recruit/recruit.htm>』  
生徒が見つけた仕事探しについての心構えの Web ページ。仕事とは何か, 最終的に得たいものは何か。  
こころの翼>適職診断テスト『<http://www.sinritest.com/occhome.htm>』  
職業別就職情報『<http://sigoto119.seesaa.net/>』, 就職に役立つ色々な職業情報を提供する。  
日本標準職業分類(平成 21 年 12 月統計基準設定)>分類項目名  
『[http://www.stat.go.jp/index/seido/shokgyou/kou\\_h21.htm](http://www.stat.go.jp/index/seido/shokgyou/kou_h21.htm)』  
日本標準産業分類(平成 19 年 11 月改定)>分類項目名  
『<http://www.stat.go.jp/index/seido/sangyo/19-3.htm>』  
ハローワークインターネットサービス『<https://www.hellowork.go.jp/>』  
13 歳のハローワーク公式サイト『<http://www.13hw.com/jobapps/ranking.html>』  
高卒求人.Com『<http://kousotsu-kyujin.com/>』  
職業調べ! なるためナビ『<http://www.ayatoshi.net/syokugyou/>』  
PRESIDENT Online『<http://president.jp/articles/-/5978>』 高校生が将来就きたい職業  
リクナビ『<http://www.rikunabi.com/>』  
リクナビ進学『<http://shingakunet.com/>』  
リクナビ進学>学校を探す『<http://shingakunet.com/daitan/>』  
さんぽう進学ネット>フリーター・ニートについて  
『[http://www.sanpou-s.net/useful/freeter\\_neet/5.html](http://www.sanpou-s.net/useful/freeter_neet/5.html)』  
ニートサポートナビ『[http://www.neet-navi.com/hbcl\\_sub.html](http://www.neet-navi.com/hbcl_sub.html)』  
Benesse マナビジョン『<http://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/>』 高校生の進路・進学を応援  
進研ゼミ高校講座『<http://shinken.zemi.ne.jp/hensachi/>』  
専門学校ナビ『<http://www.senmon-navi.com/>』  
専門学校ガイド『<http://www.senmon-gakkou.jp/>』  
厚生労働省>介護福祉士の資格取得方法  
『<http://www.mhlw.go.jp/bunya/seikatsuhogo/shakai-kaigo-fukushi5.html>』  
資格の王道>介護福祉士『<http://www.shikakude.com/sikakupaje/kaigofukushi.html>』  
口コミランキング>資格試験をランキングと口コミで比較『<http://kuchiran.jp/business/qual.html>』  
年収ラボ『<http://nensyu-labo.com/>』  
年収ラボ>職業別『[http://nensyu-labo.com/2nd\\_syokugyou.htm](http://nensyu-labo.com/2nd_syokugyou.htm)』  
年収ラボ>警察官の給料&年収『[http://nensyu-labo.com/koumu\\_tihou\\_keisatu.htm](http://nensyu-labo.com/koumu_tihou_keisatu.htm)』  
職業別年収ランキング(男性編)『<http://www.poor-papa.com/male.htm>』  
職業別年収ランキング(女性編)『<http://www.poor-papa.com/female.htm>』  
百花繚乱『<http://flowerillustr.com/>』 花のイラスト・画像・フリー素材  
無料テンプレートサイト『<http://nikukyu-punch.com/>』  
Cool Web Window『<http://www.coolwebwindow.com/>』 無料 HTML+CSS ホームページテンプレート  
ふわふわ。り『<http://shimizumari.com/fuwa2li/>』 free web graphic  
女子のネット活用法>無料タイトルロゴジェネレーター『<http://girlsnet.ninpou.jp/logo.html>』  
イスでもわかる JavaScript 講座『<http://www.red.oit-net.jp/tatsuya/java/>』  
〇〇とは?〇〇の方法『<http://qandal.seesaa.net/article/113840270.html>』  
就活ノート『<http://jobnote.net/companyRank.php>』 文系就職偏差値ランキング  
Re 就活『<http://re-katsu.jp/>』  
転職サイト@type『<http://type.jp/>』  
就職偏差値ランキングまとめサイト『<http://jobranking.sakura.ne.jp/>』  
ベスト進学ネット『<http://best-shingaku.net/senmon/>』  
大学受験パスナビ『<http://passnavi.evidus.com/>』  
大学ランキング『<http://www.geocities.jp/unirankrank/>』  
キャンパスマップ『<http://university.nomaki.jp/02.html>』  
学校ネット>専門学校進学率『<http://www.gakkou.net/sen/guide/d0102.html>』  
学校ネット>専門学校探し『<http://www.gakkou.net/sen/guide/a02.html>』  
ライセンスアカデミー進路ナビ『<http://shinronavi.com/>』  
マイナビ 2014『<http://job.mynavi.jp/2014/>』  
マイナビ進学『<http://shingaku.mynavi.jp/search/dt/>』  
マイナビ転職『<http://tenshoku.mynavi.jp/>』  
ダイヤモンド就活ナビ>大学生が選んだ就職先人気ランキング  
『<http://www.diamond-lead.co.jp/ranking13/index.html> - A03』

ウィキペディア『<http://ja.wikipedia.org/wiki/>』

千葉県ホームページ>平成23年度進路状況調査

『<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/toukeidata/shinro/h23.html>』

日本経済新聞>大学就職率『[http://www.nikkei.com/article/DGXDASDG1404N\\_V10C12A5MM0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXDASDG1404N_V10C12A5MM0000/)』

時事ドットコム>就職率と内定率

『[http://www.jiji.com/jc/v?p=ve\\_soc\\_tyosa-koyou-college-naitei](http://www.jiji.com/jc/v?p=ve_soc_tyosa-koyou-college-naitei)』

(※上記のURLは2013年12月18日現在リンク先にアクセスできることを確認しています。)

## **(6) 商品名称に関する表示**

ActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Javaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

JavaScriptは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。